

【第4会場：4S05教室（11）】

団体名： 駒ヶ根市

### 概要

長野県南部、伊那谷のほぼ中央に位置する駒ヶ根市は、東に南アルプス(赤石山脈)、西に中央アルプス(木曾山脈)の3千メートル級の山々を、まちから望むことができます。

「駒ヶ根」という名前は、駒ヶ岳の麓のまちという意味で、昭和29年の市政施行時に命名されました。



中央アルプス

世帯数	12,241 世帯
人口総数	32,690 人
男性	15,978 人
女性	16,712 人

[平成26年5月1日現在, 駒ヶ根市毎月人口異動調査]



こまかっぱ

### 地域の日本語教育に関する事業

- 平成21年度 「日本語ボランティアのための基礎講座」の実施
- 平成22年度 「多文化共生のまちづくり推進プラン」の策定  
「日本語ボランティア フォローアップ研修」の実施
- 平成23年度 「駒ヶ根市日本語学習システム」の構築  
「日本語ボランティア・コーディネーター研修」の実施
- 平成24年度～ 日本語教室の実施
- 平成25年度 「日本語ボランティア研修」の実施  
日本語教材の制作

### 事業実施概要

事業名称	「駒ヶ根市 日本語学習システム」による日本語学習事業の実施
地域の課題	本市では人口の 2%弱が外国籍市民であり、定住化が進む傾向にある。外国籍市民の約 60%が言葉の壁が円滑な日常生活の障害と回答している。また、市民団体が担っている日本語教育ボランティアは十分な経験や知識がない。
事業の目的	日本人と外国人、そして行政が協働で運用することにより、円滑な市民生活を創出すると共に、日本語学習に関わる人材を育成することにより、市民が主体的に運用する。
事業の概要	<b>日本語教育の実施</b>
	名称：「駒ヶ根市日本語学習システム」に基づく日本語教室の実施 目的：市民ボランティアが中心となり、「生活に密着した日本語」を教授する教室の運営 対象：駒ヶ根市に在住、勤務、通学する外国籍住民等 人数：21 人（主な出身・国籍：フィリピン） 時間：51 時間（全 30 回） 内容：生活に密着したシチュエーションをテーマにした日本語教室の実施。必要に応じてゲストを招き、専門家の見地から授業をサポートする
	<b>日本語教育を行う人材の養成・研修の実施</b>
	名称：駒ヶ根市日本語ボランティア研修 目的：駒ヶ根市の日本語教室で学習者の「サポーター」になるためのスキルを習得する 対象：駒ヶ根市内で日本語学習に関わる意思のある方 時間：3 時間×9 回（全 21 時間） 人数：30 人（出身・国籍：日本） 内容：日本語教室へ関与する市民の増加を目指し、日本語教育に関する初心者向けの研修を実施する。 ※上記研修の他に、日本語ボランティア経験者向け研修（3 時間×3 回）も実施
<b>日本語教育のための学習教材の作成</b>	
名称：駒ヶ根市日本語学習システム オリジナル学習教材 目的：日本語教室を指導したことのない方に対し、「生活に密着した」日本語をどのように教授すればよいか示唆を与える成果物の完成 対象：簡単な日本語がわかる学習者対象を対象とした日本語指導者 構成：表紙…1 ページ、緒言…1 ページ、教材の使い方・見方…1 ページ、目次…1 ページ、教材本文…88 ページ 合計 92 ページ 及び資料	
成果と課題	外国人と日本人とが協力して事業を構築する「場」ができた。ボランティア研修を通じ、日本語教室や多文化共生に関心を持つ市民の掘り起こしや、人材育成がなされた。オリジナル教材の作成により、日本語教育のノウハウや知見が一般化された。 今後、教室を地域に浸透させるため、外国人と日本人との出会い、ふれあいの場を創出し、専門的知識が必要と感じている市民との壁を取り除いていく必要がある。
発表者から一言	学習者がそれほど多いわけではありませんが、多くの方の協力をいただき、今年度も元気に活動しています。